

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	保育の計画と評価		
担当者(Instructors)	渡邊 明宏	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

幼児教育・保育の実践は子どもの健やかで全面的な育ちを目標とし、子どもの状況や変化への理解にもとづき、保育者によって適切かつ計画的に行われることが求められている。また、実践は柔軟性をもって展開されること、事後には反省をもって評価して保育者としての資質の向上、園全体の改善につなげていくという視点も必要である。この授業では、幼児教育・保育の全体的な構造をとらえながら保育の計画と評価について修得し、終日・部分の指導計画を立案できるようになることを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	テキストを用いて、保育の計画と評価に関する基礎的な理論を修得する。そして、得られた知識を活かしたり教材研究に取り組んだりすることによって、部分・一日の指導計画を自ら立案する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション・保育の基本①	授業の進め方、保育の基本的な理念について理解する。	<input type="checkbox"/>
第2回	保育の基本②	環境・遊びをととした保育や、子どもの育ちと保育について理解する。	<input type="checkbox"/>
第3回	教育課程・全体的な計画と指導計画	教育課程・全体的な計画を理解し、それらと指導計画との関係について確認する。	<input type="checkbox"/>
第4回	幼稚園と保育所の理解	幼稚園教育の基本と保育所保育の基本について確認する。	<input type="checkbox"/>
第5回	指導計画の形式と作成手順の基本	指導計画の各項目やその記入内容、作成のための手順・考え方について理解する。	<input type="checkbox"/>
第6回	指導計画の作成方法①	子どもの姿、ねらい、内容の記入方法について理解する。	<input type="checkbox"/>
第7回	指導計画の作成方法②	環境構成、予想される子どもの姿、保育者の援助・配慮の記入方法について理解する。	<input type="checkbox"/>
第8回	3歳未満児の指導計画	3歳未満児の育ちの姿と保育、指導計画について確認する。	<input type="checkbox"/>
第9回	3歳以上児の指導計画	3歳以上児の育ちの姿と保育、指導計画について確認する。	<input type="checkbox"/>
第10回	特色のある保育形態における指導計画	解体保育(異年齢)の状況をふまえ、指導計画における留意事項を理解する。	<input type="checkbox"/>
第11回	保育における記録と省察	保育実践における記録の役割と意義について理解する。	<input type="checkbox"/>
第12回	保育の実践と評価	評価のあり方やPDCA、評価の方法について確認する。	<input type="checkbox"/>
第13回	幼稚園・保育所・認定こども園の要録	要録とその内容について理解する。	<input type="checkbox"/>
第14回	指導計画の立案①	主活動の部分指導を立案する。	<input type="checkbox"/>
第15回	指導計画の立案②・まとめ	一日の保育の指導計画を立案する。半期の授業内容を振り返る。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

授業前にテキストの予習(2時間)をしておく。授業後は配布資料や学修内容に基づいてまとめを作成(2時間)する。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業内の提出物に対しては次回以降にまとめてフィードバックし、全体で共有する機会を設ける。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	幼児教育・保育の全体的な構造をふまえて保育の計画と評価の重要性を理解し、説明できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	部分・一日の指導計画を立案できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) テーマのまとめり毎に提出物を課す。また、ディスカッションやグループワークにおいては積極性や事後の振り返りを評価する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	岩崎淳子 他 (2018) 教育課程・保育の計画と評価 (萌文書林)	978-4-89347-314-1
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜プリントを配布する。	
2		
3		
4		
5		